

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

肝疾患患者における様々な臨床検体でのバイオマーカー解析

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、肝癌での発癌機序の解明や、肝癌の早期発見に向けたバイオマーカーの開発、肝癌の予後に関連するバイオマーカーを探索することで、予後改善を目指すことを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2012年4月1日 から 2020年10月5日 までの間に、

当院の消化器内科で①臨床研究審査委員会で承認された臨床研究にて対象期間中に保存された臨床検体がある肝疾患（慢性肝疾患、肝がん等）の患者さん、②対象期間中に日常臨床で採取された残余検体のある肝疾患（慢性肝疾患、肝がん等）の患者さんです。（①、②に該当する患者さんの保存された検体または残余検体を2次利用させていただきます。）

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2025年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- 試料：血清
- 診療情報等：性別、生年月、年齢、人種、身長、体重、performance status、肝疾患の原因、慢性肝炎・肝硬変の有無、糖尿病の有無、AST、ALT、血小板、アルブミン、総ビリルビン、腫瘍マーカー(AFP、DCP)、肝がん進行度、腫瘍数、最大腫瘍径、脈管浸潤の有無、肝外転移の有無、治療法

【情報の提供先・提供方法】

上記の試料・診療情報等を肝がんのバイオマーカーの解析のために、研究代表施設／山口大学医学部へ郵送にて提供します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：山口大学医学部附属病院
- 研究代表者：第一内科（消化器内科） 佐伯 一成

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科	岩佐 元雄
日本医科大学附属病院 消化器外科	吉田 寛
大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵病態内科	田守 昭博
岡山大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科学	能祖 一裕

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2250）

研究責任者 消化器内科・教授 加川 建弘

研究分担者 消化器内科・講師 荒瀬 吉孝

消化器内科・講師 鶴谷 康太